



当院では様々な委員会が活動しております。そのうちの1つに感染対策委員会があります。この委員会の目的は、病院で起る様々な感染症から患者さまや職員を守ることで、各部署の責任者によつて構成されています。また、委員会の下に様々な対策の実行部隊として感染対策部会（以下「部会」）が活動しており、毎月定期的に開催されています。

人の集まる場所には、必ずと言っていいほど感染症が発生します。特に病院や施設では、病気により体力の低下した方や治療の過程で免疫の低下した方等が多くおられます。その中で、もし感染症が蔓延（院内感染）した場合、多くの方の健康を損なうことになります。そうした場合に備え、感染機序（空気感染や接触感染等）や感染源の推定、予防対策のマニュアル（手引き）を作成しています。このマニュアルを院内各部署が手順のとおりに実施できているか、部署が清潔な環境を維持できるかを確認する作業（ラウンド）を毎週行います。



内科医 濱田 徹
今年度4月より久万高原町立病院内科に勤務となりました、濱田徹と申します。昨年度までは愛媛県立南宇和病院に勤務しておりました。現在は総合内科として幅広く診させていたいと思います。町民の皆さまの健康に少しでも役立てるよう努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。

ドクター紹介！ その②

病院リレーエッセイ

病棟看護師 石丸 幸子



早いもので入職して5年が経ちました。この5年で妊娠、出産、育児、復帰と充実かつ慌ただしい日々を送っています。今回はこの5年間を振り返りたいと思います。妊娠が判ったのは2015年の年明けごろです。いつもより体の調子が悪く、むかむかする日々が続いていました。今でも忘れない七草がゆの日に、妊娠検査薬で検査をしてみるとすぐに陽性と判定が出ました。数日後に産婦人科に田那と受診し、心音を確認し喜んだのを覚えています。しかし喜びは束の間、すぐに悪阻がひどくなり、1ヶ月程度仕事を休ませてもらいました。ベッドから起き上がることもできず、常にトイレと友達状態の日々でした。食べ物・飲み物がそのまま、なんごとも。なかなか寝ることもできず、カレンダーを毎日見て、悪阻が落ちつくのを折り数えながら待つていた気がします。5ヶ月に入るころにはだいぶ悪阻も落ち着き、逆に体重増加に注意した位です。出産まで常に吐いていたた

め、職場にはたくさん迷惑をかけたと思いますが、温かい職場に恵まれたおかげで無事に長男を出産することができました。息子を初めて抱いた日は今でも忘れません。出産してからは1ヶ月里帰りをしました。地元の友達や職場の方など、沢山の方に息子を抱っこしていただきました。出産前は抱き癖が付いたらいけないから泣いてもほつとく、と言つていた私ですが、やはり我が子は可愛い。泣くとすぐに抱っこしてしまいます。すくすくと成長し今では3歳になつた息子。相変わらず抱っこにおんぶが大好きな甘えん坊です。身体を動かすことと車が大好きで、休みの日には散歩したり、公園や車のおもちゃで遊びます。絵が描けるようになってからは、お絵かきや工作も行い、家には力作がたくさん飾られています。2歳頃から魔のイヤイヤ期と言われる時期に突入し、なかなか思うようにいかない日も。時期的に夜勤にも入りだしたこともあります。甘え度はピークに。今では少しずつですが聞き分けもできるようになり、笑顔で保育園の登園ができます。夜勤明けに迎えに行くと今でも甘えん坊ですが、息子も小さいながら親の仕事を理解し頑張っていると思うと、ついつい思いつきり甘えさせてしまします。

子供の成長はあつという間です。毎日怒りながらも日々家事・育児・仕事に励んでいます。忙しい時こそ少し心に余裕を持ち、息子の話に耳を傾け一日一日を大切に、そしてたまには息抜きがてらショッピングやカフェに行きながら、これからもパワフルママで頑張ります。